

はぐるま

令和2年1月発行 **100** 号

目次

- ・新年のごあいさつ —2
- ・医療関係者間コミュニケーションアプリ「Join」システム導入—3
- ・画像診断における検査の適切な管理・運用について —3
- ・医療機器安全管理責任者としての医療機器管理業務 —4
- ・看護部だより —5
- ・栄養管理科の提供するサービス —5
- ・愛美園「ほっこりカフェ」 —5
- ・協和ヘルシーセンターリハビリテーション科活動報告 —6
- ・恒徳会だより —7
- ・外来診療担当医表／編集後記 —8

施設利用者の干支作品



協和ヘルシーセンター
通所リハビリ利用者作品（ちぎり絵）



恒幸園デイサービスセンター
利用者作品（ねずみの初詣）



協和中央病院通所リハビリ利用者作品
（ちぎり絵）



協和中央病院通所リハビリ利用者作品
（ペーパークイリング）



すみれ園利用者作品（ちぎり絵）

明けましておめでとうございます



社会医療法人 恒貴会 理事長
中原 昇

2020年、そして令和になって初めての新年を迎えます。新天皇が即位されて諸々の古代の儀式を遂行され、多くの国民がテレビを通して目にすることができました。また2回目の東京オリンピックの年でもあります。病院も社会医療法人として初めてのお正月を迎えます。いろいろな意味でめでたい新年を迎えることができました。また1月末には病院機能評価の更新の審査が予定されています。

まず社会医療法人ですが昨年10月に茨城県から認可をいただきました。病院創設の久野家の深いご理解により実現した経緯があります。久野家の方々には感謝と御礼を申し上げます。厚生労働省は民間病院の出資持ち分を放棄するように働きかけていますが簡単なことではなく、まだ75%の病院が出資持ち分を放棄できていないようです。何か問題が起これば病院の経営に深刻な状態をもたらすことになります。これで協和中央病院グループ（社会医療法人恒貴会）は永続的に病院経営をすることが可能になりました。文字どおり患者さまの病院であり、職員の病院になったわけです。職員各自の病院になりましたことをよく理解して仕事に精進していただきますようお願いいたします。

また今年はオリンピックの年であります。年々規模が大きくなり経済的負担も相当のようです。またアメリカのスポーツ事情により開催が暑い夏になりマラソンや競歩の会場が変更されるなど大変なようです。アスリートにとっては長い期間の精進を発揮する場であることをオリンピックの主催者側にも理解してほしいものです。昭和39年10月開会式の東京オリンピックがありました。統計上晴れが最も多かったのが10月10日とのことでした。日本の経済も開催により格段に飛躍を遂げました。当時、街頭の電気屋さんの大きなカラーテレビで見た覚えがあります。オリンピックと聞くと心が高揚して楽しみであります。

1月の末日になりますが病院機能評価が満期を迎え、再審査を受けることが決まっています。この評価機構は本来第三者が病院の機能の改善を目指していろいろ意見をさせていただき、それに従って改善を加え病院の機能の改善を目指すものであります。確かに過去何回か審査を受けそのたびに病院の機能が改善されていったように記憶しています。

また新しい3.0テスラのMRI装置の具合が何となく調子が思わしくなく、正月早々入れ替えをしています。患者さまにとってより良い検査を受けていただくために調整されているようです。

今年の干支は子だそうで、こまごまと働いて少しでも地域の医療に貢献できればと考えます。皆様のご理解とご協力をいただき良い病院にしたいと職員一同頑張ります。

今年1年が皆様にとり良き年となりますようお願いしております。

明けましておめでとうございます



社会福祉法人 恒徳会 理事長
久野 貴俊

新年にあたりご挨拶を申し上げます。昨年中は皆様方には大変お世話になり感謝いたしております。本年も皆様のご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は新天皇の御即位があり令和の新元号がスタートしました。御即位に伴う各種の儀式や行事も大変華やかに催され、日本中が祝賀ムードに溢れておりました。災害が発生している中の御即位とあり大変温かなご配慮が感じられました。新時代が明るいものであることを祈りたいと存じます。

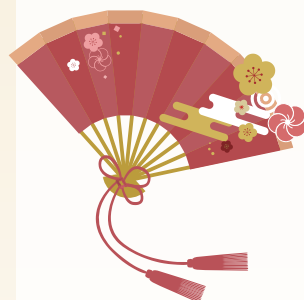
昨年も引き続き台風被害が大規模にありました。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げたいと存じます。風速60m/s以上の風が吹き荒れるという予報で、ニュースでも物が飛んできた場合の映像を繰り返し見るにつけ脅威を感じておりました。翌日各地で河川の氾濫の様子を見て被害の甚大さに言葉を失いました。

幸い恒徳会各施設の被害は大きなものはございませんでした。ご利用者様にご不便なくご安心いただくため、今後とも十分な対応ができるように準備してゆくことが必要だと思えます。

その台風の影響で第19回全国障害者スポーツ大会は残念ながら多くの競技で中止となりましたが、オープン競技の卓球バレーが行われ恒徳会からすみれ園が出場し、いばラッキークラスで第3位となりました。大変素晴らしい成績を残されましておめでとうございます。

地域社会における共生の実現に向けて新たに進む令和の時代に、さらなる高齢化、重度化してゆく環境の中では社会福祉法人としての恒徳会も益々重責を担ってゆかなければならないと存じます。地域の皆様の温かいご理解の下しっかりと役割を果たせるようにいたしたいと存じます。

令和2年が皆様にとって素晴らしい年でありますよう祈念いたします。



医療関係者コミュニケーションアプリ 「Join」(ジョイン) システムを導入



協和中央病院
院長
黒川 徳一

2020年3月より当院で「Join」を使った医療サービスを開始します。
「Join」とは、医療従事者間コミュニケーションアプリで、「Join」を使うことで、チャットによる「チーム医療」が可能となり、クラウドサービスを利用し病院間で連携が可能となります。さらにPACS（医療用画像管理システム）などと連携し、必要な医療情報を共有することにより、早い診断を行うことで質の高い医療サービスを実現するものです。

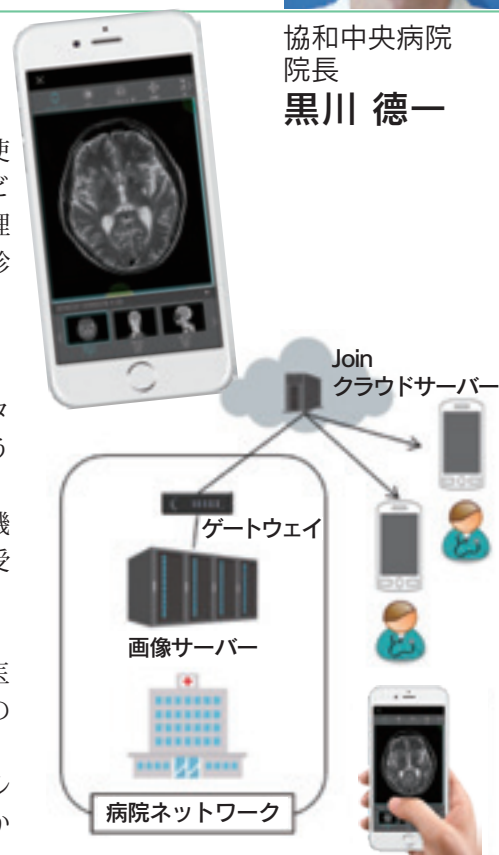
当院ではリアルタイムでCT画像などの患者データを共有できる「Join」を活用した脳卒中治療を開始する方向で進んでいます。

2次救急病院が脳卒中の専門的な治療や3次救急を担う病院と画像データを共有することで、迅速な処置につながる狙いがあります。1分1秒を争う脳卒中の治療でより早い診断や整った病院への搬送などが期待されます。

このシステムはCTやMRI画像などの患者データを専門医がいる医療機関にリアルタイムで送信し、データを見た医師から診断の助言や指導を受けられる仕組みで、タブレットやスマートフォンで画像の送受信ができ、最大で一度に約400枚の画像データを送信することができます。

現在、国内では250以上の医療機関にて、夜間休日などに院外にいる医師へのコンサルテーションツールとしての活用や、救急患者の転院の際の病院間連携・情報共有などに利用されている実績のあるシステムです。

今後、医療関係者間の必要な医療情報を“モバイル×クラウド”でリアルタイムに共有し、高度な医療現場を支える新しいコミュニケーションのかたちに成ると考えています。



画像診断における 検査の適切な管理・運用について



協和中央病院
放射線科
部長
阿武 泉

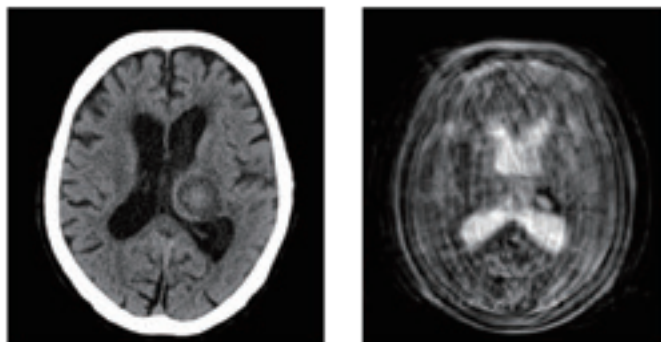
被ばく線量の管理にあたって

みなさんは、2020年4月より医用放射線の管理が法的に義務付けられるということをご存知でしょうか？医用放射線とくに診断用X線の取り扱いについてはこれまで、運用方針に合わせて各施設がある程度自由に設定していました。例えば大学病院のような大きな病院であっても、各診療科がバラバラに検査を施行し結果的に不要な検査、不要な被ばくを招く可能性がありました。今後は各検査での放射線量を記録し、検査方法や装置の設定を適宜見直すことが必須となります。

各検査の適切な使い分け

改めて当院での画像検査の状況を見返してみると、一般撮影(レントゲン検査)はもちろん、CT・MRI検査が数多く施行されています。これらの検査はそれぞれ一長一短あり、CT検査では放射線被ばくがあるものの、迅速に高精細な画像を取得することができます。特に救急時や外傷時には非常に有用です。一方でMRI検査では放射線ではなく特殊な磁石と電波を用いるため、被ばくの心配はありません。また、この電波のかけ方や信号取得の方法を変化させることで、

造影剤を用いずに特定の物質や物理現象を強調した様々な画像が得られます。一見するとMRI 検査が優れているように見えますが制約も多く、ペースメーカーなどの体内金属を有する方は検査が施行できない場合があります。またCTよりも長時間の検査となるため、その時間中安静を保てない方もこの検査には臨めません。これらの特徴を考慮し主治医の適切な判断のもとで検査が施行されています。

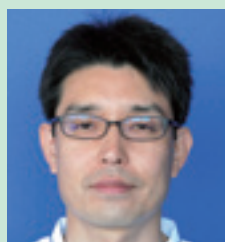


同一患者様のCT(左)MRI(右) 画像（脳出血の例）

緊急時や、検査時間中の安静が保てない場合などは被ばくを考慮してもCT検査の方が診断に有用、というケースがよくあります。

当院の被ばく低減への取り組みと今後の展望

レントゲンやCTなどの放射線検査の依頼があった場合、カルテ上での検査名・検査部位が同じであっても、当科では患者様の年齢、体格、症状の程度など様々な情報を吟味し、検査の内容を決定しています。当院は各科の風通しもよく、検査自体の必要性やその頻度などについても相互にコミュニケーションを取り、必要最低限の被ばくで最大限の診断結果が得られるようこれからも日々模索していく所存です。さらに、新年より「Join」（ジョイン）という医療関係者コミュニケーションアプリを利用し、近隣病院や大学病院と医用画像を共有するネットワークを構築する予定です。急性期脳梗塞などで大学病院などと連携して迅速な治療につなげられるよう、こちらについても適切に運用していきたいと思えます。



協和中央病院
手術看護科
臨床工学技士
早津 賢之

医療機器安全管理責任者としての 医療機器管理業務

協和中央病院では、医療機器の更新を順次進めています。今年度、心電図モニタの更新を行いました。

心電図モニタは日本光電社製の機器で、操作がしやすく画面も見やすいうえ、機能が充実しており、多くの病院で採用実績がある機種を導入しました。

一般的に、ある程度の規模を有する病院の多くには、人工呼吸器が置いてあります。病態によって近年では気管内挿管をせず、専用のマスクを用いて人工呼吸管理をするNPPV（非侵襲的陽圧換気）療法が多く行われています。大きなマスクを装着するため違和感がありますが、チューブを口から気管に入れられる苦痛はありません。当院でも、フィリップス社製の人工呼吸器トリロジ O2plusを導入し、NPPV療法を積極的に実施するようになりました。

この他にも病院内には人工呼吸器等の生命維持管理装置に限らず、様々な医療機器が溢れています。医療機器安全管理責任者として患者様への処置、治療がスムーズに行えるよう、そして機器のトラブルが発生した時に迅速に対応できるように日々管理を行っています。



フィリップス社製
人工呼吸器トリロジ O2 plus



人工呼吸器研修会での
マスク装着実習



日本光電社製 心電図モニタ

近隣の6施設合同の新人教育研修会を通して



協和中央病院
看護部教育担当
手術看護科
看護師長
大和田 和美

今年度は「共に学ぶ」を目的に第1回「コミュニケーション」、第2回「摂食嚥下」、第3回「褥瘡管理」の3つのテーマで合同研修会を企画しました。

令和元年11月22日（金）に第2回「摂食嚥下」のテーマで近隣の6施設から27名の参加があり合同研修会を行いました。この研修会を通して、研修前は自信が持てなかった知識や技術が自信につながった様子が見られました。

また、演習では他施設の職員と交流でき有意義であったとの意見も聞かれました。引き続き、新人教育の場を含め多方面から地域との連携を強化してまいりたいと考えております。



ベッド上のポジショニング



スプーンテクニック



車椅子での食事姿勢

参加者の感想より

- 患者様の気持ちが少し感じることができてとても良い研修会でした。今後は姿勢や量などにも気を付けながら介助していこうと思います。
- 普段行うことの多い食事介助を振り返り見直すことができて、大変勉強になりました。
- 食事前の姿勢が分かりやすく今後に活用できる研修会でした。
- 実際に患者の立場で形状の違うスプーンで食べることを体験でき食べにくさなどを理解することができて参考になりました。
- 患者さんにとっての食事はとても大切でありその人に合った食事で安全に食事ができるように支援していくことの重要性を感じることができた研修会でした。

一部抜粋

栄養管理科の提供するサービス



協和中央病院
栄養管理科
管理栄養士

石戸 利幸

協和中央病院栄養管理科は、患者様の治療の促進とQOLの向上を食事の面から支えることを目的に、現在は管理栄養士4名、調理師・調理員12名の計16名体制で業務を行っています。

給食管理としては衛生面に配慮し、適時適温で食事提供に努めています。

一般常食の方を対象に週3回昼食時に2種類の献立からお好きな方を選ぶことができる選択食を実施しています。さらに、季節や行事を取り入れた献立を立案し、月1回行事食を実施しています。その際に献立カードも添えて食事を提供しています。

栄養管理としては、必要に応じて病棟訪問や栄養管理計画書を作成するなど、入院患者様の栄養状態を把握し、個々の患者様と向き合うよう心がけています。

入院中だけでなく、外来や退院後の食生活へのサポートもできるよう栄養指導を行っています。栄養指導については、予約制となっており、ご希望の際は、主治医にご相談ください。

訪問看護ステーション

愛美園

ほっこりカフェで笑顔の交流会

ほっこりカフェスタッフ
愛美園在宅ケアプランセンター
主任介護支援専門員・看護師
認知症ケア上級専門士

佐谷 寿子

事務職

鈴木 聖子



愛美園がある桜川市は総人口が4万人を切り、減少し続けています。65歳の高齢者は増えており、高齢者夫婦、独居老人が多くなり問題化してきております。認知症と診断を受けている方の明確な数字はわかりませんが、近所に住んでいる周りの人をもて、認知症予備軍が大勢いらっしゃるなど感じております。介護保険を利用していない元気な高齢者は、できるだけその期間が長くなるように、また、認知症と診断された方は悪化までの期間が長引くようにと願い、桜川市から委託を受け、認知症カフェを開催する運びになりました（月1回毎週水曜日14時～15時30分大和クリニックカンファレンスルーム）。スタッフは愛美園からは佐谷、鈴木の名、ボランティアで元市職員3名、認知症患者1名です。誰でも気軽に参加できるようにと「ほっこりカフェ」と名付けました。認知症予防と相談支援をメインにかかっています。予防では、脳の活性化と筋力低下防止を目標にしています。塾形式で何かを覚えていってもらうこととし、前半の時間は書道、健康体操、みんなで歌おう、かぎ針でタワシ作り等、参加者のアンケートを参考に取り組んでいます。後半は茶話会です。自然な会話から相談内容が出て、経験者である他の参加者から解答が得られるのが理想です。もちろん個別相談も受けており、アンケートで事前に申し込みを受け、対応しています。初回は10月2日でした。18名（認知症の方5名）の参加者、市職員4名、スタッフ6名で計28名でした。書道は筆ペンでご祝儀袋に上手に氏名を書く練習をしました。茶話会では偶然同級生だったり、ゲートボール仲間だったりとお話がはずみました。一人での空間が持てるよう囲碁・将棋のコーナー、読書のコーナーも設置しました。今後も、できるだけ参加者の意見を取り入れ、ほっこの雰囲気作りを大切に、継続できることを願っております。

利用者に寄り添う

協和ヘルシーセンター リハビリテーション科



高齢化社会を迎え、病気や怪我の後遺症により治療や介護を必要とする方、身体の体力や筋力が減少し日常生活に不自由さを感じる方が増加しており、昨今の介護施設におけるリハビリテーションが担う役割やサービス内容も重要かつ多様性が求められています。

協和ヘルシーセンターでは利用者様から“行きたい”と思っていただける介護老人保健施設を目指しております。リハビリテーション部門では利用者様の心身状態に応じた個別の運動や体操、自主トレーニング指導、季節ごとのイベントやレクリエーションなどを行っています。

利用者様それぞれの目的や目標は様々ですが、当施設で過ごす時間の中で人とのふれあいや満足感を感じていただけるよう、一人ひとりに寄り添いながら多職種協働での支援に努めております。分からないことがありましたら、スタッフまでお気軽にご相談ください。

筑西市文化祭出展



レクリエーション風景



イベント風景



○利用者定員 入所：100床
通所（1日）：100名
訪問リハビリ（1日）：6名

○スタッフ数 理学療法士：6名
作業療法士：4名
言語聴覚士：1名 助手：1名

お問合せ先

〒309-1107 茨城県筑西市門井1669番地2

TEL 0296-57-6030（代） Fax 0296-57-5866

E-mail：healthy@kokikai.com

担当：菱沼

「いきいき茨城ゆめ卓球バレー全国交流大会」3位入賞

すみれ園



すみれ園
生活支援員
林 佑一郎

令和元年10月6日(日)、取手グリーンスポーツセンターにて第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ卓球バレー全国交流大会」が開催されました。卓球バレーとは卓球台を使いネットを挟んで1チーム6人ずつが、車椅子または椅子に座ってサウンドボールを転がし、相手コートに3打以内に返すというルールで、障害のある人・ない人、老若男女全ての人が楽しめるスポーツです。すみれ園がエントリーした「いばラッキークラス」は、14チームが参加し4グループに分かれたリーグ戦となり、すみれ園は予選リーグを全勝し、決勝トーナメントに進出。順当に勝ち上がり、準決勝は「東京北卓球バレー同好会B(東京都)」チームを相手に、2セットとも1点差で惜しくも敗退。気持ちを切り替えて臨んだ3位決定戦を見事勝利し、結果は3位入賞となりました。

たくさんの練習を重ね、様々な試行錯誤をしてきた成果が3位入賞という結果に繋がったのだと思います。これからもさらに上位を目指して頑張っていきますので、応援のほどよろしくお願いいたします。



桃香園

ナイスハート美術展に作品を出展しました



桃香園
生活支援員
榎戸 清

桃香園では文化活動の一環として昨年、12月5日(木)から9日(月)までザ・ヒロサワ・シティ会館にて行われた「ナイスハートふれあいフェスティバル2019」の美術展・一般の部に、ちぎり絵や絵画4点の作品を出展しました。

この美術展に出展するためにサークルや余暇活動の時間を使い、利用者様と職員でたくさんのアイデアを出し合いながら作品を創ってきました。複数名で協力して作成した作品や1年をかけて作成した大作もあります。締め切りの日まで「こうした方が良かな」と真剣に悩んでそれぞれが自分の作品と向き合った結果、利用者様個々の特色が出ておりバラエティ豊かな作品たちが仕上がりました。作品が完成した時は、それまでの疲れが吹き飛ばすような笑顔で、とても満足されている表情がうかがえました。

今回は絵画を中心に出品しましたが書道や写真の部門もありますので、利用者の皆様がい러ろいろなアートにトライできる機会を多く設け、来年度は多くの利用者様に参加していただけるように、全力でサポートしていきたいと思ひます。



外来診療担当医表 令和2年1月

() 専門科目

診 療 科		月		火		水		木		金		土	
脳 外 科	午 前	1	中 原	中 原	中 原	中 原	中 原	中 原	中 原	中 原	中 原		
		2	五 味	長	黒 川	大 谷	長	黒 川					
外 科	午 前	1	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	佐 藤	高 坂				
		2	高 坂	菅 野	高 坂	菅 野	高 坂	菅 野	第1、2、3、5				
内 科	午 前	1	玉 野	玉 野	玉 野	川 越	川 越	長 山					
		2	川 越	大 内	木 村	北 原	礪 田	大 内					
		3	福 島	礪 田	阿部田	福 島	武 井	(予約)新 保					
									(内分沁内科／糖尿病)	(循環器内科)			
		5	増 山		礪 田	阿治部	大 内						
			(循環器)			(消化器)							
		7	根 岸	村 上	高 崎	礪 田	海老澤						
		(呼吸器)	(内分沁内科／糖尿病)	(呼吸器)		(漢方外来)							
	午 後 (予約のみ)	1	阿治部	村 上		小笠原							
			(消化器)	(内分沁内科／糖尿病)		(神経内科)							
		2	藤 原										
			(循環器内科)										
●内科外来の午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。													
専 門 外 来	午 後	村 田	加 藤										
		(睡眠呼吸障害／予約のみ)	(漢方専門外来)										
	午前・午後 (午後予約のみ)		北 川										
			(循環器)										
心臓血管外科	午 前		小久保			小久保							
小 児 科	午 前	鷹 木	長 尾	長 尾	中 山	佐 藤	自治医大交代制						
	午 後	鷹 木	長 尾		中 山	佐 藤							
整 形 外 科	午 前	藤 田		西 頭	藤 田	萩 原	第1、3、4、5 木 村						
	午 後					第1、2、3、5 西 頭							
●月・木の整形外科は予約と紹介患者様のみ、金・土は大学診療のため時間前に受付終了となります。金(第4)・土(第2)は休診となります。予約外の患者様はお待ちいただきますのでご了承ください。													
痛みの外来	午 前				佐 藤								
皮 膚 科	午前・午後			金 子			森						
泌 尿 器 科	午 前	和 田	別 納	和 田	神 原	和 田	武 井						
	午 後	(予約)和 田				和 田							
●月曜日の泌尿器科午後は予約のみ、土曜日の受付は10：30までとさせていただきます。													
眼 科	午前・午後		高 山	高 山 午前のみ	新井・横塚 交代制	高山 午後は予約のみ							
歯 科 歯科口腔外科	午前 (土は午前のみ)	1	串 田	串 田	串 田	串 田	大谷津	串 田					
		2	田 村	大谷津	大谷津	大谷津	岡 田	大谷津					
		3		齋 藤	杉 浦	仙 名	土 肥						
	午後	1	串 田	串 田	串 田	大谷津	岡 田						
		2	田 村	大谷津	杉 浦	仙 名	土 肥						
		3		齋 藤									
専 門 外 来	午前	1 第2、4 神部 第3 野口				第2、4 森							

※受付時間《午前の部》 月・火・木・金 (7：30～11：30) 診療開始 9：00
 水・土 (7：30～11：00) 診療開始 9：00
 歯科・歯科口腔外科 (8：30～11：00) 診療開始 9：00
 ※水・土の午後 及び 日・祭日は、休診です。
 ※診察の際は、保険証をご提出ください。

《午後の部》 皮膚科・眼科 (13：00～15：30) 診療開始 14：00
 ＊眼科(木) (13：00～15：00) 診療開始 13：30
 内科・泌尿器科 (13：00～16：30) 診療開始 14：00
 整形外科 (13：00～16：00) 診療開始 14：00
 小児科 (14：30～16：30) 診療開始 15：00
 歯科・歯科口腔外科 (13：30～16：00) 診療開始 14：00 水の午後も診療します。

※受付時間外及び休診日に救急診療を希望される方は、あらかじめ電話でお問い合わせください。

安心が地域に根ざす 社会医療法人恒貴会・社会福祉法人恒徳会

協和中央病院

・脳神経外科・外科・消化器科・内科・漢方内科
 ・呼吸器科・ペインクリニック内科・整形外科
 ・小児科・放射線科・皮膚科・泌尿器科
 ・リハビリテーション科・麻酔科・眼科
 ・心臓血管外科・歯科・歯科口腔外科
 茨城県筑西市門井1676番地1
 電話0296-57-6131(代)
 E-mail: kyowa@kokikai.com

協和南病院

茨城県筑西市門井1674番地1
 電話0296-57-5133(代)
 E-mail: minami@kokikai.com

介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井1669番地2
 電話0296-57-6030(代)
 E-mail: healthy@kokikai.com

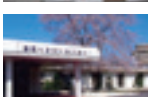
大和クリニック

茨城県桜川市大国玉2513番地12
 電話0296-58-7788(代)
 E-mail: yamato@kokikai.com

訪問看護ステーション

愛 美 園

茨城県桜川市大国玉2513番地12
 電話0296-20-6780(代)
 E-mail: aibien@kokikai.com



障害者支援施設 すみれ園

茨城県筑西市門井1677番地21
 電話0296-57-5125(代)
 E-mail: sumireen@kohtokukai.jp

障害者支援施設 堇 授 園

茨城県筑西市門井1687番地1
 電話0296-57-3400(代)
 E-mail: kinjyuen@kohtokukai.jp

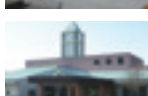
障害者支援施設 桃 香 園

茨城県桜川市大国玉2513番地10
 電話0296-58-7870(代)
 E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

新型特別養護老人ホーム

恒 幸 園

茨城県筑西市向川澄98番地1
 電話0296-57-7268(代)
 E-mail: koukouen@kohtokukai.jp



編集後記

明けましておめでとうございます。平成から令和へ新元号をお迎えし最初のお正月です。皆様はどのようにお迎えなされたでしょうか。そして、その月に今回、記念すべき100号を発行することができました。

制作するにあたり編集に関わっていただいた様々な部門の皆様にも末端ながら心から感謝しております。また、今後とも協和中央病院グループ広報誌「はぐるま」をどうぞよろしくお願いいたします。

(飯田)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇
 ●編 集 委 員／相澤明美 飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 杉田恵美子
 野村正浩 高松紀平／飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131